

第15回企画展

姉妹館締結記念・ロサンゼルス郡立自然史博物館協力展

1999年

1月9日(土) ▶ 4月4日(日)

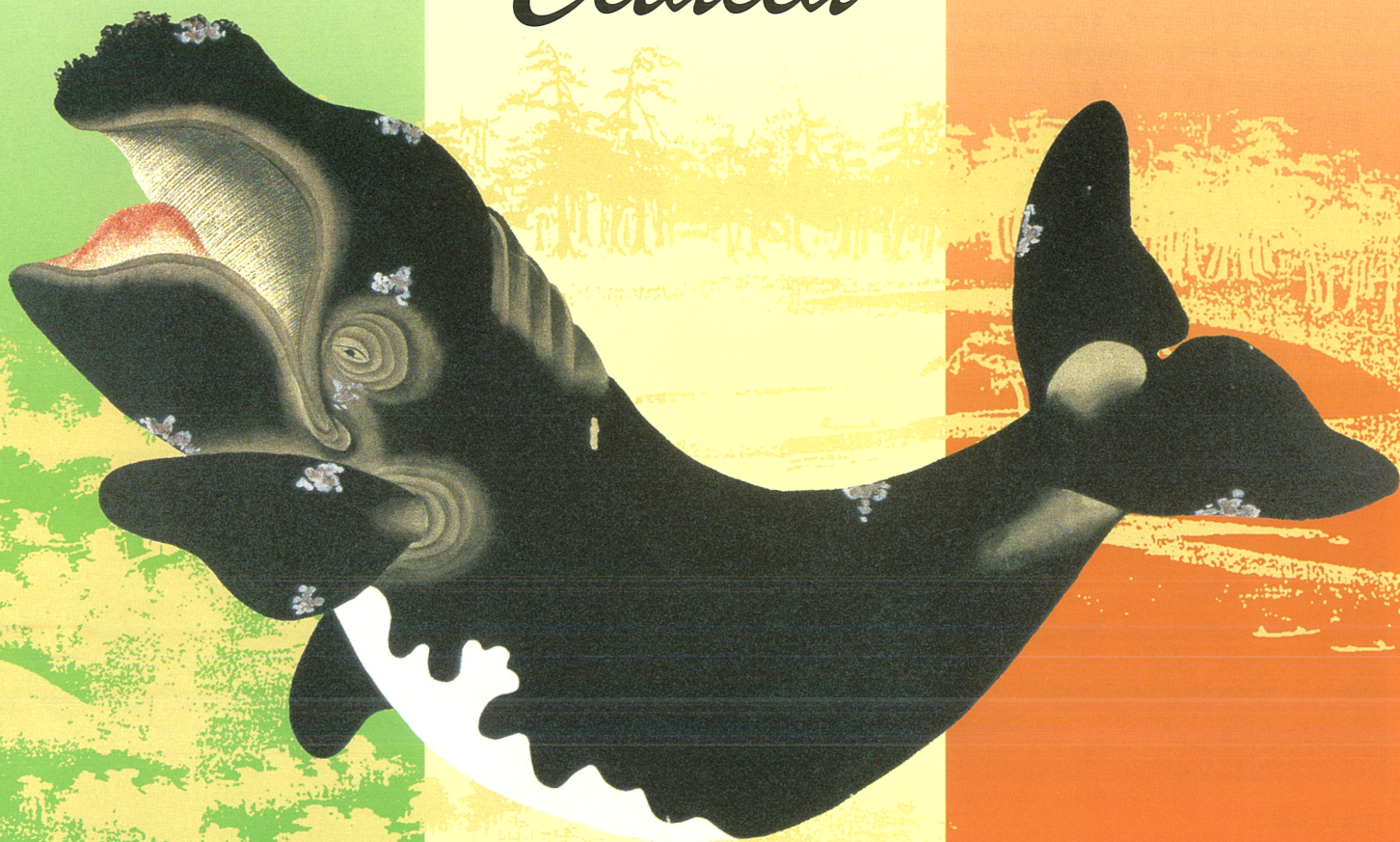
# 鯨

Cetacea



三次元のゆりかごのなかで...

*Masters of the Ocean Realm : Whales, Dolphins, and Porpoises*



### ●入館料

大人 710円 (570円)  
高・大学生 430円 (290円)  
小・中学生 140円 ( 70円)

※ ( ) 内は20名以上の団体料金です。  
※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。  
※3月21日(日)は、入館無料となります。

●開館時間 午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

●休館日 毎週月曜日  
(ただし、3月22日(月)は開館、3月23日(火)は休館します。)

■協力 ロサンゼルス郡立自然史博物館

■後援 水産庁遠洋水産研究所  
茨城県自然博物館友の会

次回企画展 ビッグ・デュオ-象と鯨の奏でる世界  
1999.4.24(土)～8.29(日)

### 記念イベント

- 1月10日(日)  
記念講演会「鯨とイルカの不思議」  
ロサンゼルス郡立自然史博物館  
鯨類研究者 ジョン・E・ヘイニング博士
- 2月11日(木)  
講演会「鯨と泳いで」  
講師 小谷実可子氏
- 3月21日(日)  
空とぶ鯨を飛ばそう(雨天順延)

ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-0622 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000  
ハローダイヤルいばらき 029-226-8600 #8886(フッシュ回線)  
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>  
古紙配合率40%再生紙を使用しています。



# 第15回企画展

姉妹館締結記念

ロサンゼルス郡立自然史博物館協力展

# 鯨 Cetacea

三次元のゆりかごのなかで…

*Masters of the Ocean Realm: Whales, Dolphins, and Porpoises*

陸上や海中に大繁栄した巨大恐竜や首長竜などが、今から約6,500万年前、姿を消しました。この肉食獣がいなくなった海にエサと生活の場を求めて進出したのが鯨類です。最初の鯨類アンブロケタスが現れたのが、約5,200万年前といわれています。その後、原始的な鯨類から歯鯨類とヒゲ鯨類に進化し、現在、世界の大洋と大河に生息しています。

歯鯨類は、歯をもった鯨の仲間、小型のスナメリ、イルカ類から体長18mにもなるマッコウクジラもこれに含まれ、この仲間は68種にもなります。ヒゲ鯨類は、上顎にエサをこしとるクジラヒゲをもつ鯨の仲間、シロナガスクジラやセミクジラなど11種が知られています。

今回の企画展では、ロサンゼルス郡立自然史博物館の協力のもとに鯨の進化から潜水への適応、多様性、食性などの鯨の不思議、現在行われている科学的な研究や文化を紹介するとともに、生活環境の悪化により、絶滅の危機にある鯨の保護についてもご紹介します。



潜水中のマッコウクジラ ©高橋智子



熊野古座浦捕鯨図 和中光次氏蔵 ©和歌山県立自然博物館

## 日本人と鯨

日本のまわりの海は、いろいろな種類の鯨の回遊路となっており、40種の鯨が見つかっています。昔から日本人は食料や燃料などにするため鯨を利用し、生活してきました。江戸時代の絵巻物には鯨と人の関わりが描かれています。



イッカクのジオラマ ©ロサンゼルス郡立自然史博物館



## 主な展示内容

- 適応  
ザトウクジラのジオラマ
- 進化  
原鯨類
- 多様性  
シャチのジオラマ
- 食性  
クジラのヒゲのしくみ  
歯のいろいろ
- 潜水への適応  
コマッコウのジオラマ
- 科学的研究  
個体識別、DNA分析
- 文化  
ツリンジットインディアンと鯨
- 保護
- 日本人と鯨  
江戸時代の古式捕鯨絵巻  
海岸に流れついた鯨たち

## 交通案内

- 車利用の場合  
常盤自動車道谷和原I.C.から20分
- 鉄道・バス利用の場合  
JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線受取駅～茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分



ザトウクジラのこどものジオラマ ©ロサンゼルス郡立自然史博物館